

桂城小学校 学団「夢・仕事・研究」発表会
5・6年生は子どもハローワークの活動を報告

桂城小学校では、11月16日に、学団「夢・仕事・研究」発表会が行われました。1年生～6年生までの全学年の児童が、自分の「夢」について想いをつづった文章や、大館市内外にある「仕事」について調べた内容を発表しました。5・6年生は、子どもハローワークでの「職場体験」について



数人が発表。聞いていた児童たちからは、「どんな仕事かわからないのに自分から体験に行ったのがすごい」「私もやってみたい」と感想を発表していました。



壁にはみんなの夢がズラリ！



お友だちの発表に、質問や感想がいっぱい♪



そのほか伝統的工芸品作りなどの取り組みも！

11/14「大館曲げわっぱ」づくりに4年生が挑戦！



桂城小学校

本校では、「ふるさと大館に根ざし、自立の気概をもった子どもの育成」をふるさとキャリア教育の目指す子ども像に設定し、大きくは、「ふるさとの美しい自然や優れた文化・伝統・芸能等に触れる活動」、「地域の人々と触れ合う体験的な活動」、「自分の生き方ややりたい自分について考える活動」の三つをとおして、子どもたちのキャリア発達を促す活動を推進しています。

第二回みんなの登校日の期間に行われた学団ごとの「夢・仕事・研究」発表会では、親の仕事調べて考えたことや総合的な学習・子どもハローワークでの職業体験で学んだこと、自分の夢などについて発表し合い、感想を交流しました。児童相互が生き方や考え方、夢に向かって努力することについてよい刺激を与え合いながら充実した発表会となりました。

城南小学校

「自分を見つめ、自己を拓く子ども」を目指し、城南らしさを生かしたふるさとキャリア教育を進めています。そのキーワードは「思いを行動に表す」「人とのかかわり」です。

大館のよさを伝えたいと、手作りCMを通して熱いメッセージを地域に発信した子どもたち。インタビューを通して、地域で働く方々の努力と熱意にふれ、将来への夢を膨らませながら職場体験に臨んだ子どもたち。思いを行動に表すことは、課題解決の実践力を身に付け、自らの将来を切り拓く力を高めることです。活動先でのさまざまな方とのふれあいは、学びの手応えとなり、次の活動への原動力となっています。学びのフィールドは地域。学びを支えてくださるのは地域の方々。机上で得られない生きた学びが、展開されています。

城南小学校 「プロジェクト」～作ろう！大館の未来」6年生が施策を提案



地域で活躍中のみなさんが先生です

テーマは、
●自然 ●特産品・食、
●産業・伝統工芸、
●歴史・行事、●観光・名所、
●活躍している人の6つ！

7月13日、城南小学校6年生が大館の未来の施策アイデアを発表し、大館で活躍している6人の方に講評してもらいました。また、7月18日、5年生が、美容師、画家、消防士、カメラマンなど、13人に「お仕事インタビュー」を行いました。どちらも、地域の方を講師としてお招きし、交流を図りながら開催しました。

美容師、画家、消防士、カメラマン…5年生がプロにお仕事インタビュー！



美容師



新聞記者



カメラマン



画家



ロボット製作



消防士

近所で作品を見せていただきました

消防士の制服を試着！

城西小学校 キャリア教育発表会 全学年が取組を発表

城西小学校では、11月30日・12月4日にキャリア教育発表会が行われました。1年生は「お手伝い大作戦」、2年生は「町たんけん」、3年生は「すごいぞ！秋田杉・大館の自然」、4年生は「あこがれの仕事調べ」、5年生は「一番近い世界遺産～白山地～」、6年生は「職場体験を通して」のテーマについて発表しました。6年生は、職場体験を他学年に体験してもらう時間もつくり、他学年から「体験できて楽しかった」と大好評でした。



3年生

大館には昔から秋田杉がたくさんあるんだね



2年生



5年生

白山山地では、ぶなの根を守るためにウッドチップをまいているんだよ



1年生



11月13日の様子



4年生

城西小学校

「人とかわり合いながら、自分を高めようとする子ども」を目指し取り組んでいる本校のふるさとキャリア教育。課題解決に向けて、友達・家族・地域の方…たくさんの人とかわりながら、主体的・協同的な学びを通して、地域のよさ・大館のよさを感じ取ってきました。

キャリア教育発表会では学んだこと、体験したことを他学年に教えたいという思いで、様々に工夫した発表がされ、活発に質問や感想がやり取りされます。そして、互いの取組から刺激を受け、さらに新しい目標を見出す…そんな協同的な学びが展開されています。

今後も地域にくらす人の思いや願いを知り、進んでふるさと大館に働きかけようとする子どもの育成を目指して実践を積み重ねていきます。

有浦小学校

有浦小では、子どもたちが「夢」をもってたくましく生きていこうとする気持ちをもってくれることを願って、地域の方々をお招きし、生き生きと活動している大人の姿にふれる機会を数多く実施しています。

高学年では、外部講師をお招きして、様々な仕事や社会の仕組み、生きがいについて学ぶ機会を多くもちました。6年生は「夢講座」と題して様々な職業の方々にお話を聞く活動を実施しました。「夢講座」に来てくださった15人の講師の方々には、ご自分の仕事のやりがいだけでなく、人生の楽しみ方、生きがいについても熱く語っていただきました。講座を通して子どもたちは、仕事を含めた自分のライフスタイルについても今まで以上に真剣に考えるようになり、「ひと」という教材の素晴らしさを実感しています。

有浦小学校 「地道な努力と強い意志が大切」ハビネッツ山口選手が学校訪問

有浦小学校では、11月13日に、秋田ノーザンハビネッツの山口選手をお迎えしてお話を聞きました。子どもの頃に好きだったアニメの影響でバスケット選手を目指すようになったことや、プロになるために仙台、新潟、アメリカと色々な場所でチャレンジを続けてきたことなど、夢への道のりについて教えていただきました。山口選手は、「遠い未来の夢へ向かって地道に努力することが大切。努力は目に見えないものだが、強い意志を持って、結果が出るまで頑張ってください。」と子どもたちに熱いメッセージを送ってくださいました。



辛い練習をともに乗り越えてきた仲間、財産です



がんばれ！がんばれ！ハビネッツ！



GO！GO！ハビネッツ！



上川沿小学校

全校梨がり遠足 地元の特産品を学ぶ

上川沿小学校は、9月24日に、全校梨がり遠足を行いました。石垣農園の農家さんに、梨や農業のお話を聞いた後、みんなで梨がりを体験。11月20日には、3年生の社会科の授業に梨農家さんをお招きし、地元特産「中山なし」の成長過程について学びました。



梨農家さん
から地元特産
「中山なし」に
ついて学ぶ



本についての
質問が
たくさん!

中央図書館



おはがきを
投函♪

中央郵便局

2年生が町たんけん 中央図書館と中央郵便局へ

上川沿小学校2年生は、11月7日に、町たんけんて中央図書館と中央郵便局を訪れました。ふだん入ることのできない図書館の資料保管庫や、郵便局の郵便物仕分け作業場などを見学し、職員さん・局員さんにくさんの質問をしました。

上川沿小学校3年生は、12月14日に、図工・美術教材などを製作する会社「株式会社サンテックス」を見学しました。会社の概要についてお話を聞いた後は、工場内を見学。カタログを見ると、約400種類の製品の中には、児童たちが実際に図工の授業で使ったものもありました。

教材づくりに興味しんしんの児童たちは、たくさん質問をして、メモをとっていました。



3年生がサンテックスを見学



やわらかい
粘土で
何つくろ
うかな?

上川沿小学校

学校教育目標の「夢いっぱい 未来を拓く 上小の子」をうけて、「自分の生き方について考え、夢や希望をもって学び続ける子ども」を目指して、取り組んでいます。今年度も、地域探検や社会科見学、野菜や米作りなどの農業体験、全校梨狩り遠足などで、活動の場を校内だけでなく地域に広げ、様々な体験をして、ふるさとのよさを学ぶことができました。また、学校支援地域本部事業の活用により、地域の方をゲストティーチャーとして活動し、地域の方にたくさんふれました。そして、その中で、周囲の人に積極的にかかわって行動することや目標に向かって努力することの大切さに気づくことができました。来年度は、地域の特産品である梨について、全校的な取り組み「ドリーム果樹園」を進める予定です。

成章小学校

本校ではキャリア教育を推進するにあたり、自分の将来を思い描く基盤作りを目指しています。田野倉先生の講演は、自分の夢や目標に向けて努力することの大切さを子どもたちに伝えてくれるものでした。先生の子どもの頃の様子、現在の仕事に就いた経緯、そして、現在の夢であるサクラマス釣りのことなど、「夢サイクル」をキーワードに自らの経験をもとに分かりやすく話してくださいました。本校は、枝豆の栽培に取り組んでいます。体験を通して学び、さまざまな方々の生き方や仕事への思いなどに触れ、将来の自分をイメージできる子どもに育てたいと考えています。夢に向かって努力する田野倉先生の言葉を忘れず、子どもたちが自分の夢サイクルを回し続けていけるよう、学校と地域が一体となって支援していきたいと思ひます。

成章小学校

「一步踏み出す勇気をあげる!」秋田職能短大 田野倉校長先生



「まぼろしの魚サクラマス釣る」という夢をかなえるために、さまざまな準備をしました!



また会える日を楽しみにしています!



ありがとう
ございました!

7月12日、成章小学校5・6年生とその保護者のみなさんを対象に、キャリア教育の講演会が行われました。講師は、秋田職能短大の田野倉校長先生です。テーマは、「夢や目標の自己実現に向かうために大切にしたいこと～夢サイクル～」。「サクラマス釣りたい」という自分の夢を叶えるまでの道のりを例に、夢を実現するために大切なことを話してくださいました。最後には、「みんなは1人じゃない。夢に踏み出す勇気をあげます」とエールを送ってくださいました。



人生を豊かに
生きるための
「夢サイクル」
とは……!



花岡小学校

夢アップ講座「強い意志」と「人との出会い」を大切に

花岡小学校では、7月5日の「夢アップ講座」に、岩谷製パンの岩谷さんをお招きしました。小学生の頃からパン屋さんになりたかった岩谷さん。パンの発酵時間による味の違いや、さまざまな仕事道具を紹介していただきながら、パン屋になるためには強い意志が必要だったことや、人との出会いに影響を受けたことについても話してくださいました。



発酵時間を変えると、味も硬さも変わります！



おいしい！



お客様の笑顔はどうやったらつくることができるのかを考え、妥協せずパンを作っています

夢アップ
【講
岩谷 正



今度、パンを買いに行きたいです！

将来パン屋さんになりたいです！



花岡小学校

本校では「ふるさとよき、人々の温かさに気づき、夢を育てるキャリア教育」のテーマの下、多くの「人」や「もの」、「こと」から学ぶキャリア教育を目指しています。

地域には、豊かな自然の他、特徴ある企業や施設があります。子どもたちが実際に見聞きし、それに触れたり体験したりすることを通して、地域への関心やコミュニケーション能力を高める活動を行っています。

また、「夢アップ講座」は年2回、高学年を中心に実施しています。この講座では、地域で活躍している先輩や会社等から、現在の仕事に就いたきっかけや、挫折をどう乗り越えたか、などの話を具体的に聞くことができます。子どもたちが、夢を実現させるためにどのような設計図を描けばよいかを考える機会にしています。

矢立小学校

「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて努力できる児童」の育成を目指し、低学年では地域を探検し、中学年では歴史や文化を調べ、高学年では働く人と交流をするといった諸活動を通して、ふるさとキャリア教育を進めようと計画しての一年目。

4年生は青森県碓ヶ関小学校との交流会で「矢立のよさ」を発表。6年生は矢立と大館を紹介するリーフレットを作成し、修学旅行先の北海道函館市で初めて出会った人たちに「矢立と大館」を発信。ふるさと矢立・大館を自信をもって語ることができました。

また、3年生や6年生は地域の方の講演で、5年生は地元企業の訪問で、自分の将来への夢と目標に向けて努力する必要があることを学びました。

活動を支えてくださった地域の方々そして、コーディネーターに感謝の念でいっぱいです。

矢立小学校

青森県碓ヶ関小学校との交流などを通して矢立をPR！
ふるさと・矢立の"じまん"を見つけ、"よさ"を伝える

矢立小学校では、「矢立のじまんを見つけよう」「矢立のよさを伝えよう」などをテーマに、ふるさと・矢立に根付いた活動を行ってきました。3年生は、地域の方による講演会から矢立の自慢できるところを学び、4年生は、青森県の碓ヶ関小学校との交流を通して矢立の良さを伝えました。5年生は、「スクープ矢立で働く人発見！」をテーマに矢立の企業を訪問・見学、6年生は、将来の生き方を考えるための職業講話を聞いたり、6月の修学旅行で大館のPRをしたりしました。また、11月には、お世話になっている方々を招待して「なべっこ・感謝集会」を開催。各学年とも感謝の気持ちを伝えました。



4年生 碓ヶ関小との交流

碓ヶ関小の子どもたちとの交流は大盛り上がり！



碓ヶ関小の子どもたちに矢立の良さをPR



矢立のよいところ、じまんできるところを知ろう！

3年生 矢立の"じまん"を見つける講演



5年生 秋田ウッド訪問

矢立にある企業を調べます



大館のリーフレットを配ってPR！

6年生 修学旅行(函館)で大館PR



お世話になった方をご招待

全校なべっこ・感謝集会

南小学校 キャリア教育発表会 5年生は収穫したお米の販売も！

南小学校では、12月7日に、全学年のキャリア教育発表会が行われました。1年生は「お手つだい大さくせん」、2年生は「生活科学習発表」、3年生は「ぼくらはひまわりとうふやさん」、4年生は「みんなが住みやすい町に」、5年生は「米作り名人になろう」、6年生は「未来の自分を見つめて」をテーマに発表しました。この日、5年生は収穫したお米の販売も実施。用意したお米は、みごと完売しました！

12月4日
JA旬菜館にて
ひまわりとうふの販売



11月20日
かまふく作し
収穫したお米の販売



大館高校生活科学部
のみさんが先生!

南小学校

「自他のよさを見つめ、未来への夢や目標に向かって努力する子どもの育成」を目指し、生活科や総合的な学習の時間を中心にしてふるさとキャリア教育を推進してきました。

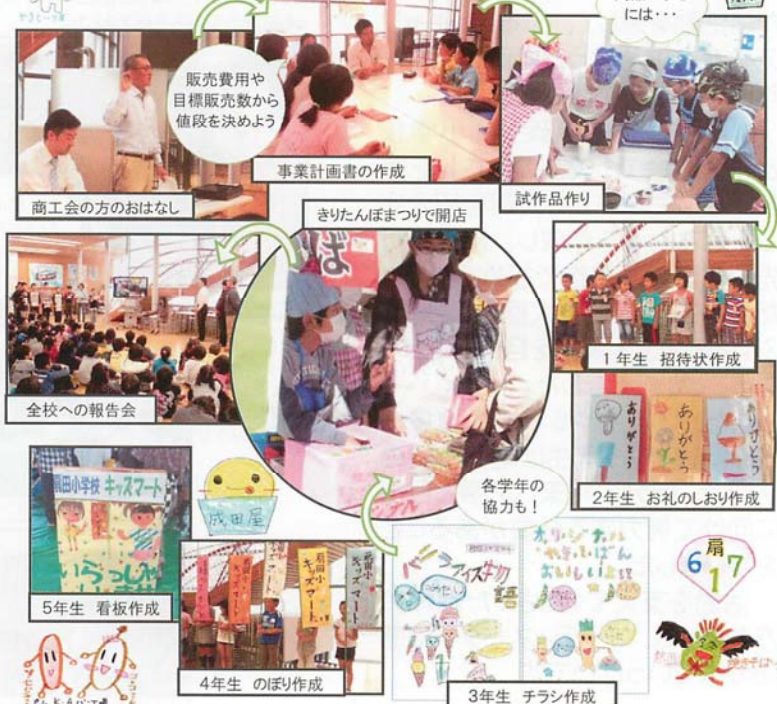
自分たちで育てた大豆を使って豆腐を作り、販売した3年生。「米作り名人」になることを目標に、米を育て収穫して販売した5年生。作物を育てることの大変さ、そして販売することの難しさを実感することができました。「ようこそ先輩」というテーマのもと、様々な職業の保護者を招いてインタビューした4年生。地域の企業を訪問して働く方々の熱い思いに触れた6年生。将来への夢を膨らませることができました。地域の方々と触れ合いながら、地域のよさを再認識するとともに、自分の夢や目標に向かってひたむきに努力する子どもの育成を願って、さらなる活動を展開していきたいと思ひます。

扇田小学校

「地域の力をふるさとキャリア教育に」を合い言葉にふるさとキャリア教育を進めてきました。その中での代表的な取り組みがキッズマート大作戦です。今年度は6年生を中心としながらも全校の取り組みになるように工夫して行いました。6年生は、扇田商工会の力を借りながら商品開発や商品販売を体験しました。「物を販売することは難しいな」と思うこともありましたが、どんな工夫をしたら売れるのかを楽しく考え、販売日に向けて準備をすることができました。そして、働く人、地域の人々の力の大きさを実感したのです。1～5年生は、自分たちが今できることを考えて参加しました。参加したことにより「自分たちも6年生になったらがんばりたい」という思いをいっぱい膨らませています。

扇田小学校 6年生キッズマート大作戦 全学年が協力して開催

扇田小学校では、扇田大通り会の方々と協力して、6年生の子どもたちが商品販売を行う「キッズマート大作戦」に年間を通して取り組んできました。扇田商店街の歴史や、人々の思いを学んだ子どもたちは、「どのような商品を、どのように販売するか」を考え、それぞれの「事業計画書」を作成。試作品作りを経て、10月のきりたんぼまつりでお店を開店しました。子どもたちは、協力することの大切さ、お客さんが喜ぶとうれしくなることを販売体験から学び、扇田の人とのふれあいから地域への思いを深めたようでした。



より良い商品にするには...



6
17



西館小学校

「夢を育む教室」
金メダリスト 浅利純子さん

西館小学校では、6月4日の「夢を育む教室」に、世界陸上女子マラソン金メダリストの浅利純子さんをお招きしました。小学生の頃、いつもマラソン2位だったけれど、あきらめずに練習して中学生で1位になったこと、東京マラソンで転倒してもあきらめずに走り続けて逆転優勝したことなど、「くじけそうになってもあきらめないこと」の大切さを教えてくださいました。



どうやって夢をかなえることができますか？



質問
いっぱい！



くじけそうになってもあきらめないこと！夢への階段を1段ずつのぼっていきましょう



オリンピックのユニフォーム



き、金メダル……！



西館小学校

本校では、「ふるさとの地に立ち、夢をいだいて歩む子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、生活科や総合的な学習の時間を中心に全教育活動を通じて、ふるさとキャリア教育を推進しています。今年度はその一環として、浅利純子さんや秋田職業能力開発短期大学の田野倉悟校長先生をお招きし、「夢を育む教室」を開催しました。また各学年では、保育所との交流や比内養護学校との交流、更には学校支援地域本部事業を活用した農業体験等を実施しています。これらの活動を通じて、子どもたちは人と触れ合う喜びを体感するとともに、ふるさとを愛する心や、未来に目を向け、夢に向かって努力することの大切さを学びました。それぞれの活動を効果的に関連付けること、学んだことの発信の在り方が今後の課題です。

東館小学校

「夢や希望を持ち、意欲的に学び続ける子どもの育成」をめざし、ふるさとキャリア教育を推進しています。

既存の「ふるさと教育」と「生活科」「総合的な学習の時間」を融合させた本校独自の全体計画を作成し、各学年のキャリア発達目標を明確にして学習活動が展開できるようにしています。また、「みんなの未来科」も4回実施しました。著名な方の幼少時から現在までの生き方にふれ、児童一人一人が自分を振り返る機会となりました。

研修会を2回開き、共通理解の下にキャリア教育の全体計画を作成したことで、学習のねらいが焦点化し、児童は目的意識を持ち、意欲的に校内や地域等で活動できました。みんなの未来科は、講師との交渉に時間や労力を要しますが、ぜひ次年度も継続していきたいです。

東館小学校

世界で活躍する人を講師に「みんなの未来科」

東館小学校では、各界で活躍する方をお迎えし、未来について考える講演会「みんなの未来科」を開催しています。オリンピックに過去2回出場経験のある水泳選手の長崎宏子さん、エベレストの女性世界初登頂者である田部井淳子さんからは、「一生懸命がんばること」、「夢を叶える意思を持ち続けること」の大切さを学びました。



がんばりたいことを見つけたら、何もこわがらず、一生懸命がんばろう！きつと見てくれる人がいます

7月19日 長崎宏子さん



夢を叶えるには、体力や技術だけでなく、「絶対やる！」という意思を持ち続けることが大切です

9月11日 田部井淳子さん



講演のあと、水泳部の指導もしていただきました！



質問
いっぱい！



女性世界初！「エベレスト登頂」のときの1枚



児童だけでなく地域の方々も多数聴講しました



早口小学校 早口の伝統行事 早口川羽州街道「徒渡（かちわた）り」

6月14日、早口小学校の恒例行事、津軽藩の大名行列を再現した「徒渡り」に向けて、わらじ作りと学習会が行われました。地域のみなさんや文化財保護協会の方が先生となって教えてくださいました。「徒渡り」本番の7月8日には、手作りのわらじを履いて堂々と早口川を渡りました。



わらじの作り方を地域の方から教えてもらいます

6月14日 「徒渡り」で使用するわらじ作り



今年でなんと20回目を迎えた「徒渡り」

7月8日 早口川を渡る「徒渡り」

学校のまわりを探検！ 地域の人とも交流

早口小学校3年生は、5月28日、地域探検を行いました。探検の途中で、地域の人に道を教えてもらったり、畑で作っている野菜の名前を覚えてもらったりしました。9月26日の「秋の大冒険」では、7.2キロの道のりを縦割り班でみごと歩きぬきました。



5月28日 地域探検

復興支援農園で収穫・販売 ジャがいも・サツマイモ



8月28日 収穫作業

今年は販売にも挑戦しました！



9月26日 秋の大冒険



11月10日 販売活動

早口小学校

本校では「自主・自立・貢献」の3つのキーワードを意識しながら「ふるさとキャリア教育」を進めています。伝統行事「徒渡り」を大事に受け継いだり、「秋の大冒険」に老人クラブの方々を招いて河川公園で交流会をしたりして、ふるさとの美しい自然を味わいながら、地域の方々と交流することができました。また、2年目を迎えた「震災復興支援農園でのジャガイモ・サツマイモ栽培」は今年も雑草と暑さとの戦いでした。それでも子どもたちは「被災地の人の役に立ちたい」と願い、がんばって活動しました。3年生以上は会社を立ち上げ、お客さんに買ってもらうために販売方法やPR方法も工夫し、校内だけでなく旬菜館や田代支所でも販売を行いました。苦労はしたけれど、昨年同様、被災地に義援金を送ることができ、被災地の人の力になれたことは、子どもたちの大きな充実感につながりました。

山瀬小学校

本校では、「夢や希望をもって努力し、進んで学び続ける子ども」を目指し、地域社会の元気の源となる教育活動の推進を図りながら、「やませっ子のふるさとから学ぶ」ふるさとキャリア教育を進めています。10月には、創立50周年記念「やませっ子発表会」を開催しました。「ふるさと」をテーマに、各学年ごとに地域に伝わる伝統芸能や昔話、学校の歴史や地域の自慢など、各教科や総合的な学習の時間等で学習したことを様々な表現方法を用いて、保護者や地域の方々の前で元気いっぱい発表することができました。地域の方々とは様々な関わりをもったり、ふるさとについて興味・関心をもって調べたりする活動を通して、子どもたちは、ふるさとを見つめ直し、ふるさとのよさをより深く実感することができました。

山瀬小学校

「フリー参観デー」で感謝の気持ちを伝える 1・2年生は育てたさつまいもでお菓子を作ってプレゼント



お菓子で 団らん♪

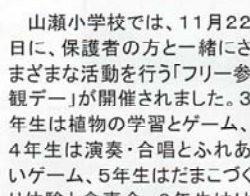
1・2年生 ありがとう集会



いつもありがとうございます！

育てた米で だまご鍋を作りました

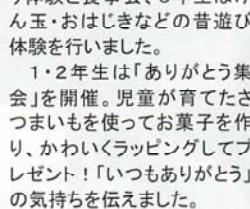
5年生 だまごづくり体験



3年生 植物の学習



6年生 昔遊び体験



1・2年生は「ありがとう集会」を開催。児童が育てたさつまいもを使ってお菓子を作り、かわいくラッピングしてプレゼント！「いつもありがとう」の気持ちを伝えました。



4年生 ふれあい交流



釈迦内小学校

大館能代空港で
ひまわりの種まき

6月5日、釈迦内小学校4年生が、釈迦内地区の住民や空港職員のみなさんと一緒に、大館能代空港の駐車場に作られた花だんでひまわりの種まきをしました。地域をあげて取り組んでいる「釈迦内サンフラワープロジェクト」の一環です。

種をまいたのは、2m×100mの長〜い花だん。総勢約100人でがんばりました！秋には、「ひまわり油」の原料としてタネを収穫する予定です。



空港内にある消防車の放水も見学。すごい水量！！



一斉に種まきスタート！



釈迦内小学校

釈迦内地区では、「ALL FOR CHILDREN〜すべては未来を担う子どもたちのために〜」というコンセプトを掲げ、地域と学校が連携して「釈迦内サンフラワープロジェクト」に取り組んでいます。ANAの企業イメージが「ひまわり」であることから連携が生まれ、空港職員とともに春には種まきを行い、秋にはボランティアで保護者も参加して収穫を行いました。プロジェクト3年目を迎え、今年度は地域住民だけでなく、市内郵便局や秋田銀行、いづく大館SCの方々を初めとする地元企業の協力の輪が広がりました。児童は、種まきや収穫、種取や販売活動などの活動で多くの大人と接する中で、コミュニケーション能力を高めるとともに、自分たちが地域の方々に支えられていることを実感し、地域への誇りと愛着を高めています。

長木小学校

「学区にあるエゾタンポポを守り育てよう」と取り組んできた『エゾタンポポプロジェクト』も、3年目を迎えました。

今年、全校児童、地域ぐるみの活動へとステップアップ。「ぎりたんぼ祭」への出店や「ひまわりサミット2012」を通して、他地域の方に活動を広めることもできました。

そして、「被災地にタンポポを届けたい」という6年生の思いから、石巻小へのタンポポ贈呈が実現しました。

目標をもって計画し、方法を考え、働きかけ、実現したときの達成感。自分たちの小さな力が誰かのために役立つこと。「人とのつながりを広げる『幸せの花』エゾタンポポから多くのことを学びました。

4年目に向けて6年生から「老人施設や病院に届ける」「押し花でお守りを作る」など、具体的な案が出されています。さらに「子どもたちの思いが形になるプロジェクト」を目指し、活動を続けていきます。

長木小学校

3年目のエゾタンポポプロジェクト 被災地との交流も

長木小学校では、3年目を迎えた「タンポポプロジェクト」が学校全体への取り組みに発展し、また、他地域との交流も増えています。8月には象潟小学校に、10月には宮城県石巻小学校にタンポポが贈呈されました。

